

日本の朝鮮統治 1

1897年、ソウル南大門



日本統治中のソウル南大門

1. 日韓併合前の朝鮮 p.2 9
2. 日韓併合後の朝鮮 p.10 20

日韓併合前の朝鮮（写真と証言）

1. 写真で見るソウルの繁華街

1880年代のソウル 南大門大通り（中心街）



南大門の大通り




パリ外邦伝教会・宣教師・ダレ著書より

貴方はみすぼらしい茅屋というのを見たことがあるでしょう。では貴方の知っている最も貧しい茅屋を、その美しさと強固さの程度を更に落として想像してみてください。するとそれがみすぼらしい朝鮮の住まいについての、殆ど正確な姿となるでしょう。

2階建ての家は探しても無駄です。そのようなものを朝鮮人は知らないのです。

『朝鮮事情 朝鮮教会史』 1874年

2. 当時の朝鮮を証言する外国人

| | |
|---|---|
|  | 「朝鮮紀行」 イザベラ・バード 1897年 (時岡敬子訳 1998年 講談社学術文庫) |
| | (1831/10/15~1904/10/7) 世界的に有名な旅行家。23~72歳まで、通算30年に渡って世界各地を旅行する。 |
| <p>北京を見るまで私はソウルこそこの世で一番不潔な町だと思っていたし、紹興へ行くまではソウルの悪臭こそこの世で一番ひどいにおいだと考えていた。都会であり首都であるにしては、そのお粗末さは実に形容しがたい。礼節上2階建ての家は建てられず、したがって推定25万人の住民は主に迷路のような「地べた」で暮らしている。路地の多くは荷物を積んだ牛どうしがすれちがえず、荷牛と人間ならかろうじてすれちがえる程度の幅しかなく、おまけにその幅は家々から出た個体および液体の汚物を受ける穴か溝で狭められている。悪臭紛々のその穴や溝の横に好んで集まるのが、土ぼこりにまみれた半裸の子供たち、疥癬もちでかすみ目の大きな犬で、犬は汚物の中で転げまわったり、ひなたでまばたきしたりしている。路地にはまた「小間物」とアニリン染料で染めたけばけばしい色の飴を売る行商人もいて、溝の上に板をさし渡し、おそらく1ドル程度の品物を並べている。こういった溝に隣接する家屋は一般に軒の深い藁ぶきのあばら家で、通りからは泥壁にしか見えず、ときおり屋根のすぐ下に紙を張った小さな窓があって人間の住まいだと分かる... かわら屋根の振り返った上流階級の家でも、通りから見た体裁の悪さという点では何ら変わりがない。</p> <p>商店も概してみすばらしいのは同じである。在庫品全部を買っても6ドル程度の店がたくさんある... おもな商品は白い綿地、わらじ、竹の帽子、素焼きのかめ... 大量の干した海藻と干しきのことといったもので、その他に安価な灯油ランプ、手鏡、安物くさい花瓶などといった外国製の不要品から一番くだらないものばかりを選んできたような品々は、どれをとっても悪趣味のきわみとしか言いようがない。黒いうるしに貝の真珠層が何かを埋め込んだ古風なデザインの象嵌製品にはときとして掘り出し物がある。金糸の刺繍をほどこした絹地もあるが、デザインがまずく、色合いはなんともすさまじい。</p> <p>(中略)</p> <p>道はとにかく悪い。人工の道は少なく、あっても夏には土ぼこりが厚くて冬にはぬかるみ、ならしてない場合は、でこぼこの地面と突きでた岩の上をわだちが通っている。たいがいの場合、道といってもけものや人間の通行でどうやら識別可能な程度についた通路にすぎない。橋のかかっていない川も多く、橋の大半は通行部分が木の小枝と芝土だけでできており、7月はじめの雨で流されて</p> | |

しまう。そして10月なかばになるまで修復されない。地方によっては、川にさしかかったら浅瀬を渡るか渡し舟に乗るかしなければならず、これには必ず危険と遅れがともなう。首都に中心をおく《六大道路》ですら、橋はふつう渡るまえにまず馬や人間の重量に耐えられるかどうかを馬夫が確かめるほど、もろい状態であることが多い。山間部では、道とはおおかたが溪流の川床に丸石をばらまいたもの以外のなにものでもなく、最良の場合でも、冬場のソウル・濟物浦（ソウルの外港）間のように、ぬかるみの深さが1フィートから3フィートにおよぶ湿地帯がある。こういったいまわしい乗馬道は、わたしも広くたどったが、朝鮮の発展の大きな障害のひとつである。

（中略）

道路が広くなると、その中央には固まった泥の山がつづき、両側には同じく固まった泥がうねになっている。道路が狭まれば、これはたんなる田んぼの畦道にすぎない。橋はとりわけ劣悪である。あまりに老朽化しているので、馬夫たちが馬を歩かせたがらず、どの川もじかに渡ったほどである。それでもこの道路は、わたしの踏破した三カ所がすべて悪路だったにもかかわらず、東海岸と西海岸からの貨物が行き来する第一級の幹線道路なのである。

元京城控訴院判事 山口真昌氏の1908年6月の証言
『朝鮮における司法制度の近代化の足跡』 友邦協会編

道路は非常に狭く、しかも糞尿は至るところ道ばたに落ちているという有様でした。井戸水は混濁していて、風呂に入れば茶色の湯で、かえって身体が汚れるような感じで、飲料水は石油の空き缶一杯で何銭（当時のお金の単位）で買ってきて使用するという状態で（要するに飲料水は買わなければならなかった

平壤普通門



と言うこと）、電灯は未だ一般の家庭には普及しておらず、私たちが当時借家としていた家にはその設備（電灯）が無いためランプを使用しておりましたが、冬になると寒気が激しく、石油が凍って段々と光りが薄暗くなり、仕事が出来ないほどでありました。

左の写真では、女性が川で洗濯をしている。

3. 写真でみる朝鮮の民衆

ソウルの男性



家でタバコをふかす老人



男児を生んだ女性（胸出しはその証）



ソウルの女性



4 . 貴族の横暴

パリ外邦伝教会・ダブリエ主教の証言

朝鮮の両班は、まるで支配者か、暴君のごとくふるまっている。両班は、金がなくなると、使者を送って商人や農民を捕えさせる。その者が手際よく金を出せば釈放されるが、出さない場合は、両班の家に連行され投獄され、食物も与えられず、両班が要求する額を支払うまでムチ打たれる。両班の中で最も正直な者たちも、多かれ少なかれ、自発的な借用の形で自分の窃盗行為を偽装するが、それに欺かれる者は誰もいない。

ボロ服をまとった両班（貴族）



棒による鞭打ち



なぜなら、両班たちが借用したものを返済したためしが、いまだかつて、ないからである。彼らが農民から田畑や家を買うときは、ほとんどの場合支払いなしで済ませてしまう。しかも、この強盗行為を阻止する守令は一人もいない。

『朝鮮事情 朝鮮教会史』
1874年

5 . 朝鮮の監獄と拷問

粗悪な朝鮮の牢獄



首枷を付けられた囚人たち

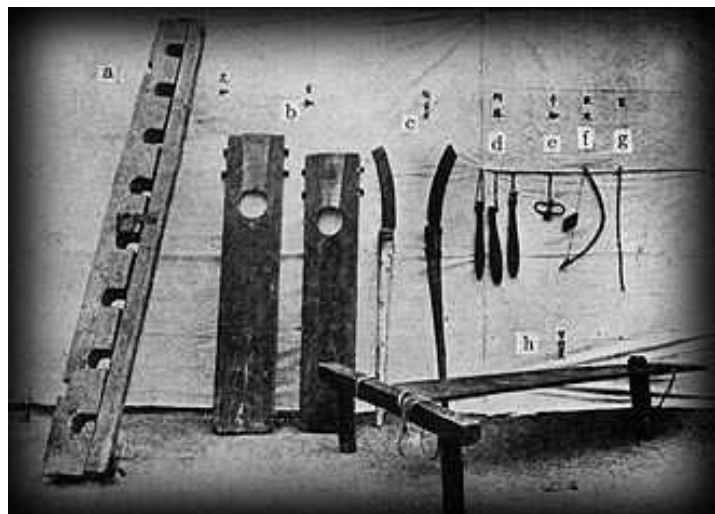


おぞましい拷問道具

日本統治中も、囚人の監督は朝鮮人巡查や朝鮮人憲兵が勤めた。

彼らは、伝統的な拷問を繰り返し、反日感情を増長させる原因を作り続けた。

参考) 今村鞆著『歴史民俗朝鮮漫談』(昭和3年)



F・A・マッケンジー著書

渡辺学訳『朝鮮の悲劇』 平凡社東洋文庫 1973年

カナダ人、ロンドン・デーリーミラーの記者。1904年と1906年の2回韓国を訪れ、1908年に『朝鮮の悲劇』を出版。

明治三九年夏、二つの監獄を実際に訪れてみた。その最初のものは平壤で見たのであるが、そこでは一八人の男と一人の女が一つの監房に閉じこめられているのを見た。その男たちのうちの数人は木の柱にくくりつけられていた。囚人たちはやせ衰えており、その身体は恐ろしい病気の明白な徴候を示していた。彼らの衣服は最低のものであり、その監房は筆舌につくし難いほどに不潔であり、何らの身体労働や労働もなしに、数年間も監房に閉じこめられたままなのであった。或囚人は六年もその監房に閉じこめられてきたと言うのであった。

次の監獄、宣川（平安北道）のそれはもっとひどかった。その監獄の中はとても暗くて、部屋に入ってからしばらくは何も見えないほどであったが、地上に縛り付けられている三人の男がそこにいた。彼らの首と足は台柱にくくりつけられ、手は縛り合わされていた。部屋には明かりもなく通風窓もなかった。ただ僅かに壁に開けられた小さな穴があるだけであった。彼らの背には笞打ちで裂かれた恐ろしい傷跡があり、その手はきつく縛り付けた縄の為、所々骨が見えるほどに肉が裂けていた。そしてそれらの傷跡は、全く膿み放題になっていた。手足の上部は腫れ上がり、笞跡と水ぶくれができていた。一人の男の目はふさがっていて視力を失っており、まぶたからはたくさんの膿がたれ出していた。多分両眼を笞でひっぱたかれたのであろう。男たちは終日動くこともなしに、こうして監禁されたままなのである。私は彼らを日の当たる場所に連れ出した。それは難しい作業であった。



彼らのうちの一人は四肢が萎えてしまっていて、既に殆ど身体を動かすことが出来なくなっていた。彼らはみんな飢え衰えて、なにかを嘆願したり抗議したりする気力も失っていた。そこは私のこれまでに見た限りでの地獄への一歩手前であった。

左は、足を脱臼させる拷問

6 . 清国の属国だった朝鮮



迎恩門

左は、清皇帝から受けた恩に、感謝して迎えるために作った門。ここで朝鮮王は、九叩三拝(頭を9回頭を地面に叩きつけて、ひれ伏)し、清の使者を迎えた。

下は、「大清国の属国高麗国旗」と記された太極旗




1637年、朝鮮は清国に降伏。
清の太宗は、朝鮮王朝が「九叩三拝」を忘れないよう、モンゴル語、満州語、漢語の碑文を作って建てさせた。


日韓併合後の朝鮮（写真とデータ）

1. 朝鮮の清国からの独立

1853年、軍事力を背景とした米国の要請により、日本は開国する。北には南下を狙うロシア。東には極東進出を目論むアメリカ。西には混迷を始めた清国。南には白人に植民地化され尽くした東南アジア諸国。最悪の国際情勢の中で、日本は生き残る為、自存自衛の道を歩み始める。

| | | |
|--------------------------|--|--|
| 1868 | 日本に新政府樹立。朝鮮に国書を送る。 朝鮮は、日本の天皇が、清国の皇帝と同列の称号（「皇」の字）を使用している事を理由に、受け取りを拒否。 注釈） 当時は、「中華秩序」という国家単位のヒエラルキー思想があった。朝鮮は、清国を 1 国、自国を 2 国、日本を 3 国と考えていた。だが、日本は、この思想の存在を知らなかった。 | |
| 1873 | 朝鮮の日本蔑視に激怒し「征韓論」が起きるも、閣議で敗れる。 | |
| 1875 | 江華島事件がおこり、日朝が初の交戦。 注釈） 日本側の死者 2 名、朝鮮側の死者 35 名 | |
| 1876 | 日朝修好条規が締結。朝鮮開国。 | |
| 1882 | 守旧派のクーデター（壬午軍乱）が発生。 | 清国の介入が始まる |
| 1884 | 開化派のクーデター（甲申政変）が発生。 | |
| 1885 | 漢城条約・天津条約締結。（日清、共に朝鮮から撤退） イギリスが巨文島占領。朝露秘密協定が発覚。 | |
| 1894 | 東学党の乱（甲午農民戦争）発生。日本と清国が介入し、遂には、日清戦争へ。 | |
| 1895 | 日本が勝利。下関条約締結。清国に、朝鮮の独立を認めさせる。 | |
| 1896 | 高宗国王が宮殿を捨てロシア公使館に移り住む。 |  |
| 1897 | 朝鮮、国号を「大韓帝国」と改める。 | |
| 右は、「迎恩門」が破壊された後に立てられた独立門 | | |

2 . 日韓併合

| | |
|---|-------------------------------|
| 1900 | 清国で義和団事件発生。ロシアが満州に進出 |
| 1904 | 日露戦争。日韓議定書・第一次日韓協約締結 |
| 1905 | 日露講和条約・第二次日韓協約（日韓保護条約）締結 |
| 1907 | ハーグ密使事件の責任をとり高宗皇帝退位。第三次日韓協約締結 |
| 1909 | 伊藤博文（朝鮮統監府初代統監）が、朝鮮人に暗殺される |
| 1910 | 韓国併合 |
| 一進会が南大門前に立てた奉迎門 | |
|  | |
| <p>1909年 12月4日 「韓日合邦を要求する声明書」 一進会（百万の朝鮮人会員）</p> <p>日本は日清戦争で韓国を独立させてくれた。 日露戦争でロシアに食べられる寸前の韓国を救ってくれた。 それなのに韓国はこれを感謝しなかった。 あの国に着き、この国に着き・・・結局は外交権を奪われる事になった。</p> | |
| <p>しかし、これは我々が自ら招いた事態である。丁未条約（第三次日韓協約）を締結する事になったのも、やはりハーグ事件を起こした我々に責任がある。伊藤博文が韓国の国民を見守ってくれ、皇太子を導いて韓国の為に尽くしてくれた事は忘れられない。 それなのに暗殺事件が起こってしまった。 今後、どんな危険が到来するのかわからない。 これもまた韓国人が自ら招いた事態である。 （中略） だから劣等国民として保護されるよりも、日本と合邦し大帝国を作ろう。 世界の1等国民として日本人と全く同じ待遇を受けながら暮らしてみよう。</p> <p>ハーグ密使事件）大韓帝国が、ハーグ平和会議に韓国の外交権保護を要請する密使を送ったが、国際社会から完全に拒絶された事件</p> | |

3 . 日本統治下のインフラ整備（見違える南大門通り）



整頓されて行く南大門通り

左は、2 ページに記載した南大門通りと同じ場所である。日本はスラムを撤去すると、道路を舗装して市電を引いた。

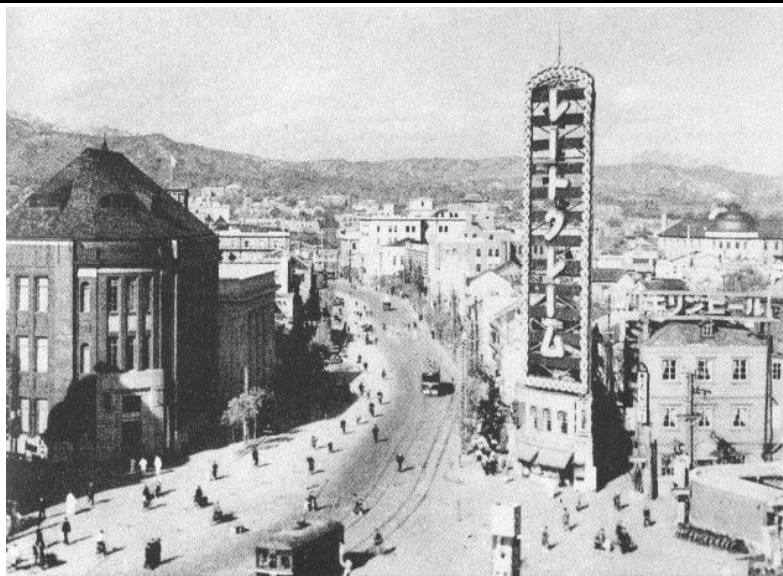
電線と街灯が完備される

右は、上記と同じ南大門通りである。道路は完璧に舗装され、両サイドには近代建造物が立ち並んでいる。

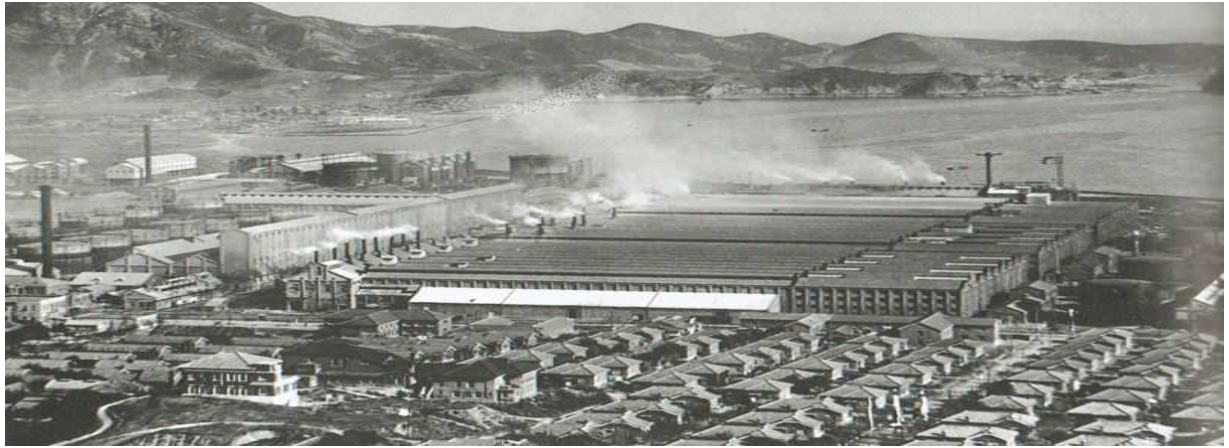


日韓併合から26年目のソウル南大門通り（1936年）

左は商業銀行。
右は化粧品会社の看板。
右端は、麒麟麦酒の看板。
真ん中の南大門通りは、市電が複線になっている。



新興工業都市、興南。朝鮮窒素肥料・日本マグネシウム・朝鮮鉱業などの工場が進出。
1942年撮影。



右は、世界最大級の水力発電所、水豊ダム。

1937年に着工。41年始動。44年完成。
当時出力世界二位のダムで朝鮮及び満州の電力をまかした。



朝鮮年間総発電量

終戦時完成分 114 億
KWH
工事中だった分 70 億
KWH

平壤の町並み

アメリカの巨大発電所
TVA(ニューディール
政策の目玉だったテネ
シー川開発)年間発電量
と比較

水力 122 億 KWH
火力 43 億 KWH
陸軍工廠 14 億 KWH
アメリカアルミ 18 億 KWH



もはや、貧しかった朝鮮の姿はどこにもない。

1937 年ソウル丁字デパート



崔基鎬教授の指摘

平成16年12月号 漁火(いさりび) 新聞6・7面

1904(明治37)年、日清戦争に次いで日露戦争を控えた日本は、こうした朝鮮の惨状を見かねて、目賀田種太郎(1853~1926年)を財政顧問として派遣し、日本からの財政支援をもとに、李朝をまともな国として立て直すという態勢がようやく緒につくことになります。

目賀田財政顧問と総監府は、朝鮮の歳入不足分を補填するために、日本国民の税金から、大韓帝国政府に無利子、無期限の資金「立替え」を実施したほか、直接支出で援助しました。

例えば1907年度、朝鮮の国家歳入は748万円しかなく、必要な歳出は3000万円以上ありましたから、その差額は全額日本が負担しています。

1908年には、

これがさらに増えて、合計3100万円という巨額の資金を日本は支出しています。総監府時代の四年間に、日本政府が立て替えた朝鮮の歳入不足分は、1428万円にものぼっています。そればかりではなく、司法と警察分野などに日本政府が直接支出した金額は、立替金の数倍、9000万円に達しています。

1940年、ソウル朝鮮ホテル(左端の女性は舞踏家・崔承喜)



| | | |
|------|--------------------|---------------|
| 人口 | 1910年度 1313万人 | 1944年度 2512万人 |
| 耕地面積 | 1911年度 246万町歩 | 1932年度 449万町歩 |
| 水田面積 | 1910年度 84万町歩 | 1928年度 162万町歩 |
| 米生産量 | 1912~16年・平均 1,230石 | 1938年度 2,680石 |
| 植林 | 30年間で5億9000万本を植林 | |
| 平均寿命 | 1910年度 24歳 | 1942年度 45歳 |

* 基本資料は、朝鮮総督府統計年報。しかし、資料によっては若干の誤差あり。(日本の統治期間は、1910~1945年)

歪曲される日本のインフラストラクチャー

日本が行ったインフラ工事の多くは、歪曲の憂き目にあっている。
13 頁の水豊ダム建設に関しても、中国側が「満州人が労働者として拉致された」「労働者は病気になっても放置された」と宣伝し、病死者だけでも 5000 人と主張している。

しかし、1937~1941 年に掛けての、工事の犠牲者数は 178 人であり、

出典)「殉職者慰霊祭 『西松組社報』1941 年 8 月号」

1937~1944 年までの総犠牲者数は、約 300 人に過ぎない。

出典)日本窒素肥料株式会社調査部編「水豊堰堤工事誌」1949 年 日本工営株式会社所蔵

現在の中国の炭鉱事故では、死者数は年間 1000 人を越えており、一度に 100 人以上死亡する事も珍しくない。

注釈)「大紀元 12 月 17 日」『2005 年中国炭鉱業における事故被害者の記録』の記事では、

2005 年度の死者数は、報道されただけでも 1066 人以上。遼寧省阜新市だけでも一度に 213 人が死亡したという。 <http://www.epochtimes.jp/jp/2005/12/html/d49817.html>

一方、水豊ダムは、世界最大の規模であり、当時の貧弱な設備では危険性は現在の炭鉱以上である。にも関わらず、工事期間七年間の死者数は 300 人に過ぎず、現在の中国の炭鉱よりもはるかに人命が尊重されていた事は明らかである。

万人坑の存在

中国側は、日本は負傷者や病気になった労働者を「万人坑」と呼ばれる穴に無残に遺棄したと主張し、その「万人坑」跡に記念館を建て、白骨死体を展示し、証言者まで用意している。

しかし、以下の事実から見て、これは中国側の創作である。

日本は「台湾」「朝鮮」にも炭鉱を持ち、日本国内の炭鉱にも満州人や朝鮮人を雇用していたが、「万人坑」は中国にしか存在しない。

「万人坑」の存在を証明する一次資料はなく、終戦と同時に、全ての炭鉱や工場から資料が隠滅されたとは考えがたい。

日本の戦犯を裁いた東京裁判では、「万人坑」の話は登場していない。

現代史家・田辺敏雄が、元炭鉱職員約 300 人、元炭鉱職員で構成される東京撫順会・会員約 1000 人にアンケートを取ったが、全員が否定している。

日本には、死者は敵味方を問わず弔う習慣がある。近代以降は、罪人の死体も大切にされるようになった。中国人であろうと、その死体を無残に遺棄するなど、日本の習慣上、有り得ない。

**一例) 13 世紀、蒙古が日本を侵略した。戦後、日本側は蒙古兵の戦死者の為に墓を立て、
壘を弔う為に寺院(円覚寺)まで建てている。**

* 展示されている白骨死体は、文化大革命時に中国共産党に殺された人々である可能性が高い。


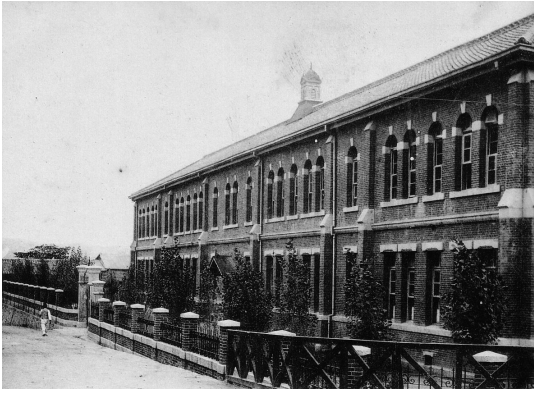



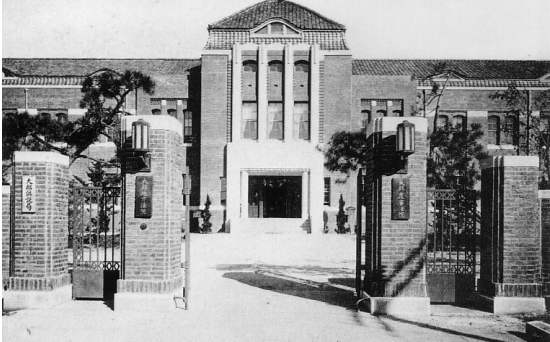
4. 朝鮮語の普及

| 日本統治下で使用されていた朝鮮語の教科書 | |
|---|---|
| | |
| | <p>「韓国 墮落の2000年史」 崔基鎬（加耶大学客員教授） 平成13年 詳伝社</p> |
| <p>ハングルが全国民に教えられるようになったのは、日帝時代になってからのことである。</p> | |
| <p>韓日併合の翌年の1911年から、総督府によって朝鮮教育令が施行され、初、中、高等学校で朝鮮人、日本人の生徒の区別なく、ハングルを必修科目とすることに決められた。もちろん、朝鮮教育令は朝鮮人を、忠良な日本国民に仕立てることを目的としていた。私が日帝時代に小学校へ通っていた時は、朝鮮語がよくできる日本人教師は、月2円の加俸があった。当時の1円は今日の日本円の数万円に相当しただろう。もっとも、昭和10年代に入ってから「皇民化教育」が強められると、日本語が強調されて、ハングルが教えられなくなった。だがハングルをはじめて韓国民に教えた総督府の功績も、忘れてはならない。</p> | |
| <p>併合時の学校数</p> | <p>わずか173校（科目は漢文のみ）</p> |
| <p>終戦時の学校数</p> | <p>小学校5213校 生徒数2389135人 就学率61%</p> |
| <p>1924年</p> | <p>京城帝国大学設立。（現・ソウル大学）</p> |
| <p>併合からわずか14年目に、日本は朝鮮に大学を設立している。 日本初の大学・東京帝国大学（1877年設立）から数えて六番目の設立である。</p> | |

* コリアは、1941年からハングルが科目から外された事を根拠に「併合中は、朝鮮の言語自体が廃止されていた」と主張する。

しかし、科目から外されただけであり、朝鮮語を弾圧する政策は行われていない。

5 . 日本統治下で充実して行く近代設備

| | |
|---|--|
| <p>京城駅</p> | <p>京城高等尋常小学校</p> |
|  |  |
| <p>ソウル朝鮮銀行</p> | <p>第一銀行釜山支店</p> |
|  |  |
| <p>京城通信管理局</p> | <p>大邱地方法院</p> |
|  |  |
| <p>ファイルに記載した各写真の出典</p> | |
| <p>村山智順所蔵写真選 http://www.flet.keio.ac.jp/~shnomura/mura/ EAST ASIAN ISSUES http://www.geocities.com/eastasianissues/</p> | <p>戦前日本外地画像資料 http://page.freett.com/heijyo/ 松原研究室 http://matsu.rcks.kyushu-u.ac.jp/</p> |

6. 独立運動の実態

1919年3月1日、朝鮮で全国規模の独立運動（3.1 独立運動）が発生する。

Q1 . 独立運動は、日本の圧政が原因で起きた。

A2 . アメリカ大統領・ウィルソンが、第一次世界大戦の講和会議で唱えた「民族自決思想」に触発された事が原因。圧政が原因だったのなら、なぜ、第二、第三の独立運動が起きなかったのか？なぜ、独立宣言の起草者・李光洙は、日本統治を支持する「民族改造論」を唱えるようになったのか？

Q2 . この鎮圧戦で、日本は7509人も殺した。

A2 . それは朴殷植が、『朝鮮独立運動の血史』で広めた嘘。総督府の正式な記録では、死者数は553人。

Q3 . 日本は、独立運動を武力鎮圧した。野蛮だった証拠だ。

A3 . 「運動」も規模が大きくなれば「暴徒」に変わる。3.1 独立運動の時も、暴徒と化した民衆によって、警察署・村役場・小学校等が襲われ、放火・投石・破壊・暴行・惨殺が行われた。これを鎮圧する為に日本は武力を用いた。

参考)「日韓2000年の真実」 名越二荒之助 平成9年 国際企画

なお、ロシアの二月革命（1917年）の時も、デモ隊が暴徒化した。この時、ロシア帝国は軍隊を使い、2月26日に“一度に200人”の民衆を殺している。

Q4 . 日本は鎮圧戦で数百人も殺している。残酷だった証拠だ。

A4 . 1960年の李承晩退陣要求デモの時は、韓国政府はデモを武力鎮圧し、死者183人・負傷者6000人以上出している。

1980年に光州で起きたデモも、韓国政府は武力鎮圧し、“一日に”死者189人・負傷者380人出している。（全体では死者数2000人以上）

一方、日本が武力鎮圧した3.1 独立運動は、朝鮮半島全土に及ぶ一大暴動だったにも関わらず、一ヶ月近くの間で死者は553人に過ぎない。

Q5 . 日本は、このデモで五万人を政治犯収容所に投獄した。

A5 . 政治犯収容所ではなく、単なる刑務所。この時の収監数は、総督府の記録では、1919年5月10日の時点で、8437名。

出典)「歴史を偽造する韓国」 中川八洋 2002年 徳間書店


Q6 . 日本は投獄した人々を拷問に掛け、大勢殺した。


Q6 . 囚人を虐待したのは朝鮮人憲兵と朝鮮人巡查。逆に日本側は、彼らの横暴を取り締まっていた。**参考)**本ファイルの7,8頁。「日本の朝鮮統治2」9,11頁

（同じ日本統治下にあった台湾では、政治犯虐待事件は起きていない）

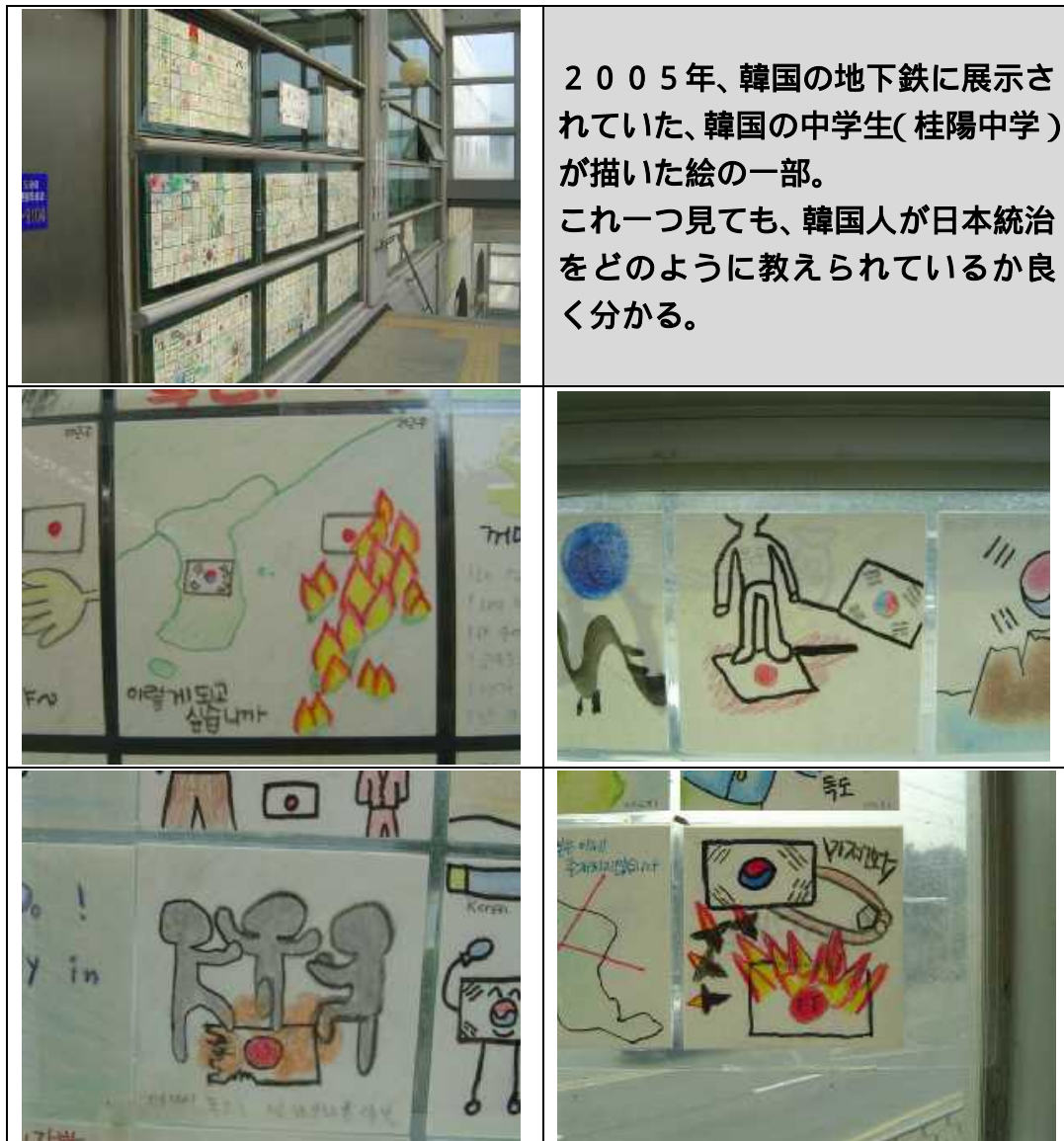
また、投獄された者で死刑判決を受けた者はいない。最高刑でも、主犯格とされた孫秉熙、崔麟等八人が懲役三年。独立宣言の起草者・李光洙ですら懲役二年半に過ぎない。

7. 植民地近代化論を唱えだしたコリアたち

| | |
|--|--|
|  | ソウル大学経済学科教授 李栄薫 |
| <p>慶南金海地域には大量の現資料が残っていた。 資料を見て、教科書とはあまりに違う内容にびっくりし驚いた。 土地申告をするようにして粗暴な農民たちの未申告地をでたらめに奪ったという教科書の記述と違い、未申告地が発生しないように綿密な行政指導をしたし、土地詐欺を防止するための啓導・啓蒙を繰り返した。 農民たちも、自分の土地が測量されて地籍に上がるのを見て、喜んで積極的に協調した。その結果、墳墓、雑種地を中心に0.05%位が未申告地で残った。 あの時、<u>私たちが持っていた植民地朝鮮のイメージが架空の創作物なのを悟った。</u>”</p> | <p>Q .日帝植民地時代のイメージを修正するようになった個人的動機は。</p> <p>A . 1990 年に、日帝の土地調査事業共同研究に取り掛かった。全国を回って土地台帳など現資料を収集した。</p> <p style="text-align: right;">韓国日報 2004 年 4 月 22 日より</p> |
| YTN (韓国のニュース専用テレビ局) のインタビューでの発言 | |
| <p>李教授「<u>私たちが植民地時代について知っている韓国人の集団的記憶は多くの場合、作られたもので、教育されたものだ</u>」</p> | |
| 朝鮮日報 2004/11/20 より | |

| | |
|---|---|
|  | 韓国人評論家・作家 金完燮 |
| <p>「韓国政府は長い間、国民を騙して歴史を捏造し、善良な日本人をまるで強盗だったように罵倒した」</p> | <p>「日韓併合」を全面肯定した「親日派のための弁明」の著者。 「独立運動家は、唯のテロリストに過ぎなかった」 「独立軍と称して日本と戦っていたのは、英雄ではなく、唯の山賊の類だった」 等の発言を繰り返したが為に、その子孫から告訴まで受けている。</p> <p style="text-align: right;">2005 年 3 月 16 日 NAVER ニュースでの発言</p> |

8 . 韓国の歴史教育の実態



< 日韓併合の真実を知る為の推奨図書 >

「日本帝国の申し子」 カーター・J・エッカート著 草思社 2004/01

「親日派のための弁明」 金 完燮著 扶桑社 2004/11

「日韓共鳴二千年史」 名越二荒之助著 明成社 2002/05 (ヨゼフ・ロゲンドルフ賞受賞)

「植民地朝鮮」研究 杉本幹夫著 展転社 2002/6

< 日韓併合の真実を知る為の推奨サイト >

日韓関係の近代史

<http://www5b.biglobe.ne.jp/~korea-su/>